

令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

監査委員事務局

企画部長 山田 宰

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
37-1	監査事務事業	なし	B	監査などの目的を十分に認識し、実施に係る技量を磨き、知識の習得、情報の収集・分析を怠らず、本来、あるべき姿を求め、発生原因を究明する必要がある。	改善 推進	定例監査後のフォローアップを継続して漏れなく行い、充実した監査事務に寄与する。知識の習得や事例の収集など、所属職員の見識を広げ、監査事務のレベルアップを図る。
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
B	例年通り、遅滞なく審査・監査・検査業務を行うことができた。定例監査後の各課へのフォローアップも計画的に実行することができた。引き続き、知識の習得や事例の収集など、所属職員の見識を広げ、監査事務のレベルアップを図るように努めていく。職員のレベルアップにより、業務の効率化を今後も推進していく。					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
B	年度当初の計画通り審査・監査・検査業務を行い、各課へのフォローアップまで実行したことは、一定の評価をすることができる。今後は全庁的にDXに取り組むことが必要になってくる。監査においてもDXの視点で様々な可能性を拾い出し、積極的にチャレンジをしていただきたい。					